

U10 奈良ジュニアサーキット 2026 大会概要

グレード A ポイント		グレード B ポイント		グレード C ポイント		グレード D ポイント	
優勝	14p	優勝	10p	優勝	7p	優勝	5p
準優勝	10p	準優勝	7p	準優勝	4p	準優勝	3p
ベスト4	8p	ベスト4	5p	ベスト4	3p	ベスト4	2p
ベスト8	6p	ベスト8	3p	ベスト8	2p	ベスト8	1p
参加	2p	参加	1p	参加	1p	参加	0.5p

※大会開催中の雨天中断などにおいては、終了時点での試合結果にてポイントを付与する。

仮にリーグ途中であれば、勝敗、得失ゲーム差、直接対決の結果などを考慮し、順位をつける。

試合が行われていない場合は、両者勝者、敗者で得られるポイントを合計し、分割したものを付与する。

【スケジュール】

日程	予備日	会場	ドロ	種別	コート
第1戦	4月25日(土)	なし	明日香庭球場	20	A 人工芝4面
第2戦	4月29日(水祝)	なし	ユニークスタイル(五條市阿田峯公園)	20	B クレー3面
第3戦	5月3日(日)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前(13:00~)	20	C 人工芝4面
第4戦	5月5日(火祝)	なし	明日香庭球場	20	D 人工芝4面
第5戦	5月6日(水祝)	なし	ユニークスタイル(五條市阿田峯公園)	20	A クレー3面
第6戦	6月13日(土)	なし	明日香庭球場	20	B 人工芝4面
第7戦	7月27日(月)	なし	平群テニスアカデミー	20	C 人工芝4面
第8戦	8月16日(日)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前(13:00~)	20	D 人工芝4面
第9戦	8月17日(月)	なし	平群テニスアカデミー(関西選考会)	上位5名	人工芝4面
第10戦	9月19日(土)	なし	明日香庭球場	20	A 人工芝4面
第11戦	9月22日(火祝)	なし	明日香庭球場	20	B 人工芝4面
第12戦	9月23日(水祝)	なし	ユニークスタイル(五條市阿田峯公園)	20	C クレー3面
第13戦	10月24日(土)	なし	明日香庭球場	20	D 人工芝4面
第14戦	11月1日(日)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前(13:00~)	20	A 人工芝4面
第15戦	11月3日(火祝)	なし	MSS 檀原テニススクール(香久山万葉の丘)	20	B 人工芝3面
第16戦	11月7日(土)	なし	明日香庭球場	20	C 人工芝4面
第17戦	12月12日(土)	なし	明日香庭球場	20	D 人工芝4面
第18戦	1月9日(土)	なし	明日香庭球場	20	A 人工芝4面
第19戦	2月13日(土)	なし	明日香庭球場	20	B 人工芝4面
第20戦	2月20日(土)	なし	明日香庭球場	20	C 人工芝4面

※上記の日程は現在決定している内容であり、追加・変更の場合があります

※大会当日、会場でのキャンセル待ちはできません。

【グレード】 大会のグレードを「グレード A~D」の4種類設置し、各大会に応じたポイントを付与します。

【ポイント】 **取得したポイントは52週間で消滅します。**

仮に4月30日の大会で、6ポイント取得すると、翌年の4月30日の大会で、6ポイント取得するとポイントは±0になります。また、去年よりも早く負けてしまった場合(例えば去年6ポイントで今年は2ポイントなら2-6=-4)、去年よりも勝ち上がった場合(例えば去年6ポイントで今年は8ポイントなら8-6=+2)となります。

【重要】 春・秋季ジュニアのドロ会議の日程の段階で、U10のランキングが奈良県ジュニアのシングルスシードの参照となります。詳細については各大会要項に掲載いたします。

参加資格がなくなった11歳以上の選手については、ランキングに残っていても、大会参加資格はなくなるため、エントリーリストのランキングは繰り上りランキングとなります。

U10 奈良ジュニアサーキット 2026 大会概要

年間登録料のお願い

大会数の増加に伴い、強化スタッフへの負担も大きくなり、施設の確保が難しくなっております。そこで強化スタッフの負担軽減や、新しく各大会運営のための施設の提供などを踏まえ、U10 参加者の方へ「年間登録料」1人1000円の負担をお願いしております。大会に参加する場合は、エントリー料金に加えて、**初回に限り「年間登録料の納付」**をお願いすることになります。ここで得た収入は全て U10以下の大会運営の目的と、U10を主軸とした奈良県の15歳以下の強化育成事業に使われます。

【試合】 16ドロウの場合 予選4名(20ドロウの場合は5名)でのリーグ戦にて順位を決定 4ゲーム先取
本戦 予選1位での通過者4名でのトーナメント 6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)
※コート面の数や時間、天候によって変更になる場合があります。ノーレットルール採用。

【コンソレ】 予選通過1位以外の選手は、予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで練習マッチを行います。
なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより異なります。

【ボール】 グリーンボール コートサイズは通常通り

【登録料】 **1年間の登録料として、初回参加の際に1000円が必要となります。**
この登録料の有効期限は2026年度のものとなります。

【参加資格】 大会実施日に 10 歳以下であり、セルフジャッジで試合が進められること
・奈良県在住の者又は県テニス協会加盟団体のクラブに所属している者。
(エントリー後は奈良県テニス協会ジュニア選手として自動的に登録される)

【関西選考会】 第9戦8月17日(月)はグリーンボール関西選考会を兼ねているため、以下の基準となります。
選考された選手は、奈良県代表としてグリーンボール関西大会に出場ができます。

(※雨天中止の場合は、申込締切時の各カテゴリー上位2名を選抜します)

10歳以下:男子 2016年(平成28年)1月1日以降誕生の者 上位5名

10歳以下:女子 2016年(平成28年)1月1日以降誕生の者 上位5名

8歳以下:男子 2018年(平成30年)1月1日以降誕生の者 上位5名

8歳以下:女子 2018年(平成30年)1月1日以降誕生の者 上位5名

※エントリー選手の中から各カテゴリーランキング上位5名が選出されます

【ポイント】 大会のポイントについては、奈良県 U10サーキットのみの独立したポイントとします。
ただし県ジュニアにおいて 12(11)歳以下シングルスドロウ作成のシード順位決定の際、同率ポイントに複数選手がいる場合や、エントリー数に応じたシード数確保のため、同ポイントランキングを参照します。

【エントリー】 全てのグレード、誰でもエントリーが可能です。
ただし定員を上回る場合は、以下の方法で参加リストを作成します。
グレード A エントリーした人の中でランキング上位から選抜
グレード B エントリーした人の中でランキング 20 位以下から上位選抜
グレード C エントリーした人の中でランキング 40 位以下から上位選抜
グレード D 初出場者を優先し、残りの枠はランキング下位者より選抜

※エントリーのランキングは10歳を超えて参加資格がなくなった選手がいる場合は繰り上りランキングとなります
(例)現在ランキング上で25位 →6名の資格外選手が上位にいた場合、エントリーランキングは19位となります
※ランキングはエントリー×切時点でのランキングとし、その時点で大会が終了していればポイントは付与された上でのランキングとなります

U10 奈良ジュニアサーキット ドロー作成基準

以下のドロー作成基準は、2026年度の基準となります。現在、奈良県内にどれだけの潜在ジュニアがいるかの把握が出来ない状況ですので、この選考基準は今後よりジュニアたちが競いやすく、試合経験が浅いジュニアたちが「県ジュニアの前のステップとなる」ように基準を模索していきます。

より良い方法が見つかった場合は、来年度以降に再協議して変更します。そのためのドロー基準ですが、ガラス張りのドローにするために公開させていただきます。

【グレード】 大会のグレードを「グレードA」「グレードB」「グレードC」「グレードD」と4種類設置し、各大会に応じたポイントを付与する。

【試合】 予選 4～5名でのリーグ戦にて順位を決定 4ゲーム先取 デュース有
本戦 予選1位での通過者4名でトーナメント 6ゲーム先取 ノーアドバンテージ方式
ノーレットルールを採用。
※ただし会場の規模や試合進行による遅延や雨天など状況により、試合方式は変更する

【本戦トーナメント】

本戦トーナメント(準決勝)のドローは次の通りとなる。

予選「A」ブロック vs 予選「B」ブロック

予選「C」ブロック vs 予選「D」ブロック

【練習試合】 予選通過1位以外の選手は予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで6-6タイブレーク形式での練習マッチを行います。なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより変更します。

【参加資格】 大会実施日に10歳以下であること。
※U10大会への参加者は、自動的に奈良県ジュニア登録が行われます

【エントリー】 各グレード誰でもエントリーが可能。

【シード】シードは上位4名が予選の4ブロックにわかれる。
エントリーランキング1位は予選「A」ブロック
エントリーランキング2位は予選「D」ブロック
エントリーランキング3位は予選「C」ブロック
エントリーランキング4位は予選「B」ブロック

U10 奈良ジュニアサーキットについて

【趣旨目的】

ドロー数(試合に出場するジュニアの数)が少ない奈良県は、県内での競争が少ないため、競争力の高い関西や全国の舞台では苦戦を強いられているという現状があります。

また、全日本ジュニア大会へ繋がる、関西ジュニア予選大会への出場枠は、各都道府県のドロー数(出場者数)に応じて振り分けられることから、奈良県の選手は常に関西ジュニアへ挑戦できる出場枠も、他府県に比べて少ないのが現状です。

そこで奈良県15歳以下のジュニア強化委員は、2014年度より10歳以下の公認大会を設置し、普及・育成に向けて取り組んだところ、12歳以下のドロー数が兵庫、大阪、京都に続く、ドロー数となり、低年齢において、県内でも切磋琢磨できるようになってきました。

これらの取り組みより、12歳以下の選手が関西ジュニアでも輝かしい成果を上げてくれています。

2026年も引き続き、低年齢の強化育成と同時に、「出場者の増加に合わせて、出場者のマナーとモラルの向上」を重要視しています。

一人でも多くの選手がエントリーすることで「少人数で競争力の低い奈良県」から、競争力が高い、層の厚い奈良県にしていきたいと考え、U10の活動がスタートしましたが、その成果は着実に表れてきています。

昨年度は奈良県から全国優勝する選手が出てきて、12歳以下の関西ランキングでも上位に奈良県の選手が複数人食い込めるようになってきました。またエントリー数は、他府県よりも大幅な伸び率を残しています。「テニス強県奈良」が少しずつ現実のものになってきている手ごたえを感じています。

そしてその先には、ソフトテニスのように「テニス強県」として全国で戦っていける総合力を養っていきたいと考えておりますので関係者様、コーチの皆様、そして保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【奈良ジュニアサーキット大会の目的】

(1) 低年齢での育成

現在、奈良県における12歳以下のドロー数はまだまだ少なく、他府県と比較してみると、強豪県と呼ばれる県との差は、競技成績にも影響しています。そこで、奈良県においても12歳以下での競技人口の増加を視野に入れた10歳以下の低年齢期での大会を設置することで、早期に試合に出場する競技者テニスに移行できると考えています。

(2) 地域の活性化

低年齢期での競争力の強化を図ることは、現在スクールに通う子供たちへの目標設定としても効果を持ちます。グリーンボールを使用することで、10歳以下の技術が未熟な子供たちでも、ゲームを楽しむことが可能になり、テニスへの新しい興味の要素が増えると考えます。また民間企業の協力により、各地域や各スクールに応じた大会を実施出来ることは、地域ジュニアの普及・育成にもつながります。

(3) ゲーム能力の向上

奈良県以外の各都道府県においては10歳以下の大会などを設置し、低年齢から競争をおこなっており、その低年齢強化への流れは、10歳以下のプレイ&ステイプログラムの普及とともに加速しています。プレイ&ステイのボールは通常ボールよりも弾みやスピードを抑えられるため低年齢においても、十分にゲームを楽しむことができ、またテクニックを磨くことができます。低年齢から試合環境を設置し、戦略・戦術の要素を持ちながら、必要なテクニックを磨いていくことにより、U12の競技力の向上に繋がります。



フェアプレイはスポーツの基本です。それは、

① ルールを守る、②対戦相手をリスペクトし、③スポーツマンシップにのっとり正閃堂閃と戦うことを意味します。日本テニス協会は以下の2つのテーマに取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

1.セルフ ジャッジ 5 原則順守のお願い

コート内では時としてトラブルが起きます。すその多くはセルフジャッジの試合におけるイン・アウトの判定やス、コアの食い違いなどに起因するもので、すとりわけ、ジャッジコールが対戦相手に聞こえない場合やハンドジングナルが曖昧な場合のトラブルです。試合でのフェアプレイ向上のため、日本テニス協会は、セルフジャッジ 5 原則の順守を推進し、ジュニア選手のみならず全てのテニスプレイヤーに対して、セルフジャッジ5原則順守の呼びかけを行っています。ジュニア選手の保護者や指導者の皆様にも、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップにのりつたフェアな試合が行なわれるよう、ご支援ください、よろしくお願ひします。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

2.ゲームの始めと終わりに「あくしゅ、あいさつ、フェアプレイ」の心がけのお願い

プレイヤーは、試合の終了時に対戦相手と握手するだけでなく、試合前にも、相手をリスペクトして握手し挨拶することを心がけましょう！そして試合中は、スポーツマンシップにのりつり、自分のベストを尽くし、フェアプレイに徹しましょう。



※コロナ禍では握手の代わりにラケットでタッチになります。



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしくお願ひします。